

参考資料 目次

1 現実を直視

- ① 政令指定都市等の人口推移（1990-2020年） … P1
- ② 政令指定都市等の人口推移（1970-2020年） … P2
- ③ 合計特殊出生率・生涯未婚率の静岡県・浜松市との比較 … P3
- ④ 20の政令市の人口関係データ … P4
- ⑤ 20の政令市の年齢関係データ … P5
- ⑥ 直近の人口動態（静岡市と浜松市の比較） … P6

2 アリーナ

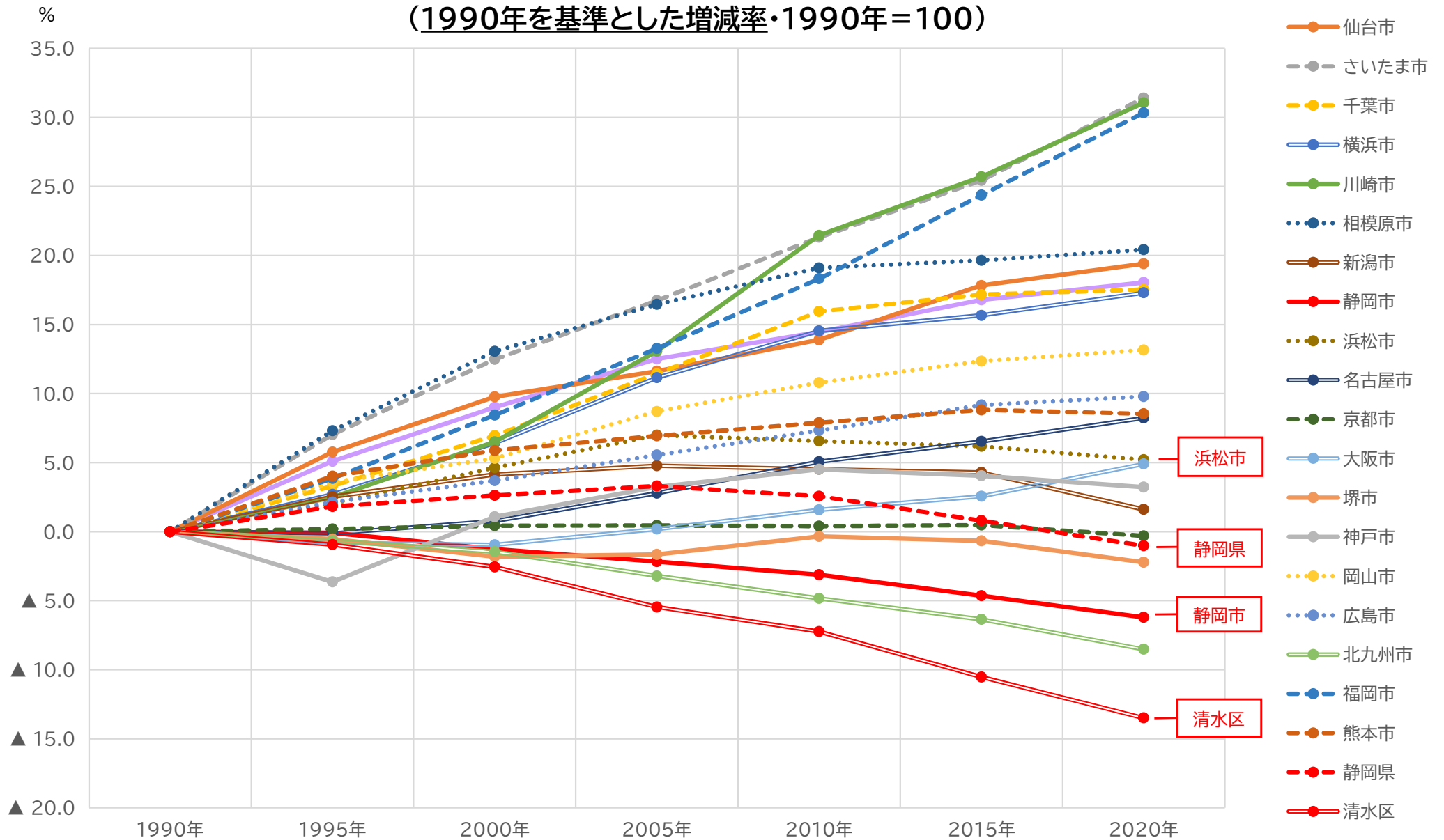
- ① 静岡市のアリーナ整備の検討経緯 … P7
- ② 多目的アリーナの整備状況（2023.12現在） … P8
- ③ アリーナの需要と静岡市 … P9
- ④ アリーナの経済波及効果・所得誘発額 … P10～P11
- ⑤ アリーナ配置イメージ … P12

3 東静岡のまちづくり

- ① 20～30年後の東静岡の将来像 … P13
- ② 周辺地区との連携イメージ … P14
- ③ JR東静岡駅周辺のまちづくり … P15

1 現実を直視

① 政令指定都市等の人口推移 (1990年を基準とした増減率・1990年=100)



1 現実を直視

11位

ピーク

② 政令指定都市等の人口推移

20位:70万人以下

政令指定都市等人口推移												
自治体	1970年	1980年	1985年	1990年	2000年	2005年	2010年	2015年	2020年	1970年～ 2020年 の人口増減	1990年～2020年 の増減	
	S45	S55	S60	H2	H12	H17	H22	H27	R2		人口	率(%)
札幌市	1,010,123	1,401,757	1,542,979	1,671,742	1,822,368	1,880,863	1,913,545	1,952,356	1,973,395	963,272	301,653	18.0
仙台市	598,950	792,036	857,335	918,398	1,008,130	1,025,098	1,045,986	1,082,159	1,096,704	497,754	178,306	19.4
さいたま市	657,425	879,291	922,757	1,007,569	1,133,300	1,176,314	1,222,434	1,263,979	1,324,025	666,600	316,456	31.4
千葉市	482,133	746,430	788,930	829,455	887,164	924,319	961,749	971,882	974,951	492,818	145,496	17.5
横浜市	2,238,253	2,773,674	2,992,926	3,220,331	3,426,651	3,579,628	3,688,773	3,724,844	3,777,491	1,539,238	557,160	17.3
川崎市	973,486	1,040,802	1,088,624	1,173,603	1,249,905	1,327,011	1,425,512	1,475,213	1,538,262	564,776	364,659	31.1
相模原市	317,297	494,255	546,517	602,436	681,150	701,630	717,515	720,799	725,493	408,196	123,057	20.4
新潟市	631,923	730,733	759,568	776,775	808,969	813,847	811,901	810,157	789,275	157,352	12,500	1.6
静岡市	681,797	727,260	737,098	739,300	729,980	723,323	716,197	704,989	693,389	11,592	▲ 45,911	▲ 6.2
浜松市	631,284	698,982	728,300	751,509	786,306	804,032	800,866	797,980	790,718	159,434	39,209	5.2
名古屋市	2,036,053	2,087,902	2,116,381	2,154,793	2,171,557	2,215,062	2,263,894	2,295,638	2,332,176	296,123	177,383	8.2
京都市	1,427,376	1,480,377	1,486,402	1,468,190	1,474,471	1,474,811	1,474,015	1,475,183	1,463,723	36,347	▲ 4,467	▲ 0.3
大阪市	2,980,487	2,648,180	2,636,249	2,623,801	2,598,774	2,628,811	2,665,314	2,691,185	2,752,412	▲ 228,075	128,611	4.9
堺市	616,558	839,421	852,864	844,899	829,636	830,966	841,966	839,310	826,161	209,603	▲ 18,738	▲ 2.2
神戸市	1,288,937	1,367,390	1,410,834	1,477,410	1,493,398	1,525,393	1,544,200	1,537,272	1,525,152	236,215	47,742	3.2
岡山市	500,599	590,424	618,950	640,406	674,375	696,172	709,584	719,474	724,691	224,092	84,285	13.2
広島市	798,540	992,736	1,051,748	1,093,707	1,134,134	1,154,391	1,173,843	1,194,034	1,200,754	402,214	107,047	9.8
北九州市	1,042,318	1,065,078	1,056,402	1,026,455	1,011,471	993,525	976,846	961,286	939,029	▲ 103,289	▲ 87,426	▲ 8.5
福岡市	871,717	1,088,588	1,160,440	1,237,062	1,341,470	1,401,279	1,463,743	1,538,681	1,612,392	740,675	375,330	30.3
熊本市	534,228	619,236	654,348	680,765	720,816	727,978	734,474	740,822	738,865	204,637	58,100	8.5
静岡県	3,089,895	3,446,804	3,574,692	3,670,840	3,767,393	3,792,377	3,765,007	3,700,305	3,633,202	543,307	▲ 37,638	▲ 1.0
清水区	265,419	268,919	268,736	267,104	260,285	252,504	247,763	238,977	231,066	▲ 34,353	▲ 36,038	▲ 13.5

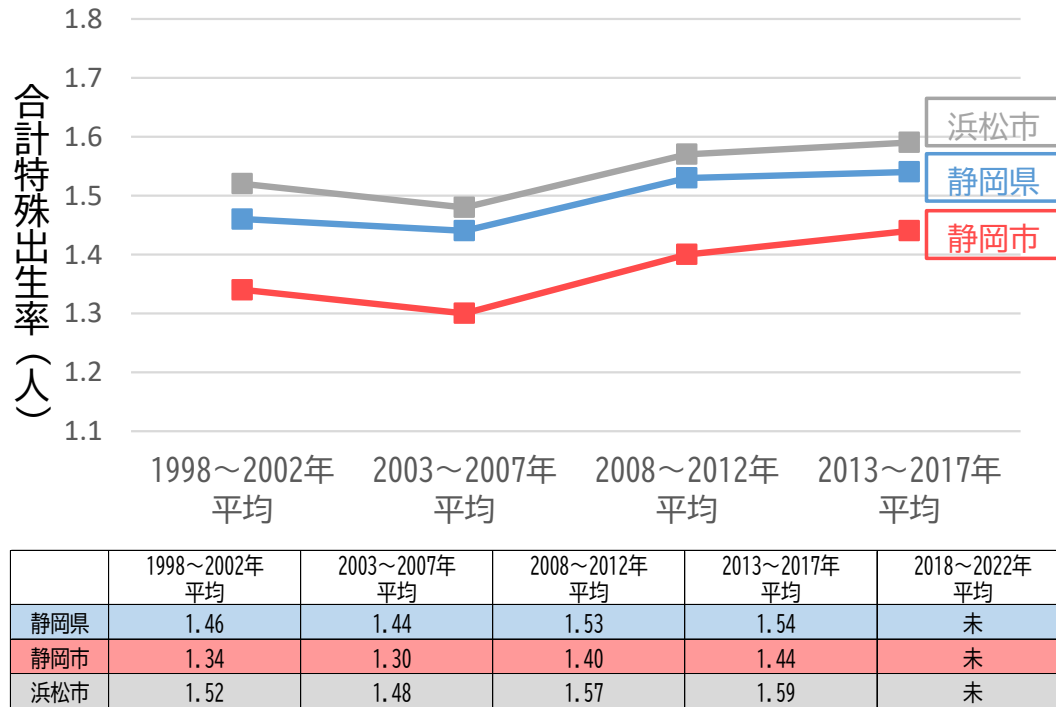
… 人口のピーク

※人口は、令和2年10月時点の市域(合併前の年度は、関係自治体を合算している)

1 現実を直視

③ 合計特殊出生率・生涯未婚率の静岡県・浜松市との比較

【合計特殊出生率】



出典：人口動態保健所・市区町村別統計

※当該期間中の国勢調査年における10月1日現在の日本人女子人口（国籍・年齢不詳を案分した後の人口）を用いて算出

※1998～2002年平均の静岡市及び浜松市は、合併前の旧静岡市、旧浜松市の数値

【生涯未婚率(50歳時未婚率)】

【男性】

和暦	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
(西暦)	(1980)	(1985)	(1990)	(1995)	(2000)	(2005)	(2010)	(2015)	(2020)
静岡県	2.2	3.4	5.3	8.9	12.8	16.6	20.4	24.1	26.9
静岡市	2.7	4.3	6.6	10.5	13.9	17.1	21.0	25.0	27.2
浜松市	2.0	3.0	4.9	8.5	13.0	17.3	21.0	24.0	26.2

【静岡市調べ】

【女性】

和暦	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2
(西暦)	(1980)	(1985)	(1990)	(1995)	(2000)	(2005)	(2010)	(2015)	(2020)
静岡県	3.8	3.5	3.4	3.9	4.5	5.9	8.9	12.5	14.7
静岡市	4.3	3.8	3.9	4.7	5.8	7.8	11.6	15.4	17.6
浜松市	4.4	3.9	3.6	4.2	4.7	6.0	8.7	11.9	13.9

【静岡市調べ】

- 静岡市の人口減少率が、静岡県・浜松市よりも大きい原因の一つが、合計特殊出生率が低いことや、生涯未婚率(50歳時未婚率)が高いこと。
- 国勢調査によると、合計特殊出生率は1985年からの35年間、静岡県平均及び浜松市を下回り、かつ、生涯未婚率は同じ期間で、静岡県平均を常に上回り、浜松市と比較してもほとんど上回っている。

1 現実を直視

④ 20の政令市の人口関係データ

(人)		出生率 (%)		自然増加比率 (%)		社会増加比率 (%)		人口増加比率 (歳)						
人口		出生率		自然増加比率		社会増加比率		人口増加比率						
1	横浜市	3 775 352	1	熊本市	0.832	1	川崎市	△ 0.01	1	さいたま市	0.73	1	さいたま市	0.57
2	大阪市	2 750 835	2	川崎市	0.797	2	福岡市	△ 0.04	2	千葉市	0.52	2	福岡市	0.34
3	名古屋市	2 325 916	3	福岡市	0.793	3	さいたま市	△ 0.16	3	札幌市	0.45	3	千葉市	0.16
4	札幌市	1 973 331	4	名古屋市	0.760	4	熊本市	△ 0.18	4	相模原市	0.43	4	相模原市	0.07
5	福岡市	1 619 585	5	岡山市	0.755	5	広島市	△ 0.19	5	福岡市	0.38	5	川崎市	0.04
6	川崎市	1 540 340	6	広島市	0.745	6	仙台市	△ 0.22	6	横浜市	0.19	6	札幌市	△ 0.05
7	神戸市	1 517 073	7	さいたま市	0.744	7	岡山市	△ 0.27	6	大阪市	0.19	6	仙台市	△ 0.05
8	京都市	1 453 956	8	大阪市	0.733	8	名古屋市	△ 0.29	8	仙台市	0.17	8	横浜市	△ 0.11
9	さいたま市	1 332 196	9	北九州市	0.684	9	横浜市	△ 0.30	9	川崎市	0.06	9	熊本市	△ 0.13
10	広島市	1 196 230	10	浜松市	0.681	10	千葉市	△ 0.36	10	熊本市	0.04	10	大阪市	△ 0.27
11	仙台市	1 097 237	11	堺市	0.679	10	相模原市	△ 0.36	11	名古屋市	△ 0.04	11	名古屋市	△ 0.33
12	千葉市	977 762	12	仙台市	0.673	12	浜松市	△ 0.45	12	神戸市	△ 0.07	12	広島市	△ 0.47
13	北九州市	931 551	13	横浜市	0.659	12	大阪市	△ 0.45	13	新潟市	△ 0.09	13	岡山市	△ 0.51
14	堺市	821 598	13	新潟市	0.659	14	堺市	△ 0.46	13	浜松市	△ 0.09	14	浜松市	△ 0.53
15	浜松市	786 787	15	神戸市	0.629	15	京都市	△ 0.49	15	静岡市	△ 0.15	15	神戸市	△ 0.60
16	新潟市	784 251	16	千葉市	0.626	16	札幌市	△ 0.50	16	堺市	△ 0.19	16	堺市	△ 0.65
17	熊本市	738 185	16	相模原市	0.626	17	神戸市	△ 0.53	17	岡山市	△ 0.24	17	新潟市	△ 0.66
18	相模原市	725 924	18	京都市	0.616	18	新潟市	△ 0.57	18	北九州市	△ 0.26	18	静岡市	△ 0.76
19	岡山市	721 922	19	静岡市	0.615	19	静岡市	△ 0.61	19	広島市	△ 0.29	19	京都市	△ 0.82
20	静岡市	688 625	20	札幌市	0.613	19	北九州市	△ 0.61	20	京都市	△ 0.33	20	北九州市	△ 0.87
2021年10月1日		2021年出生数÷人口(2021年10月1日現在)×100		2021年自然増加数(出生数-死亡数)÷人口(2021年10月1日現在)×100		2021年社会増加数(転入数-転出数+その他の増減)÷人口(2021年10月1日現在)×100		2021年人口増加数÷人口(2021年10月1日現在)×100						

出典：川崎市 2023統計情報 第5号 「令和3年版 大都市データランキング カワサキをカイセキ！」から引用して静岡市加工

1 現実を直視

⑤ 20の政令市の年齢関係データ

(歳)		(%)		(%)		(%)		(歳)						
平均年齢		15歳未満人口割合		15～64歳人口割合		65歳以上人口割合		有業者の平均年齢						
1	北九州市	48.9	1	熊本市	13.8	1	川崎市	67.1	1	北九州市	31.8	1	静岡市	47.2
2	静岡市	48.8	2	広島市	13.6	2	福岡市	64.5	2	静岡市	30.7	2	浜松市	46.8
3	新潟市	48.3	3	福岡市	13.4	3	仙台市	63.6	3	新潟市	29.9	3	北九州市	46.5
4	神戸市	48.0	4	岡山市	13.2	4	大阪市	63.5	4	神戸市	29.2	4	新潟市	46.0
5	札幌市	47.7	5	さいたま市	13.0	5	さいたま市	63.4	5	堺市	28.9	5	京都市	45.6
6	浜松市	47.4	5	浜松市	13.0	6	横浜市	63.0	6	浜松市	28.3	5	熊本市	45.6
6	京都市	47.4	7	川崎市	12.7	7	名古屋市	62.3	6	京都市	28.3	7	岡山市	45.4
6	堺市	47.4	7	堺市	12.7	8	相模原市	61.9	8	札幌市	27.9	8	札幌市	45.3
9	千葉市	46.9	9	名古屋市	12.4	9	千葉市	61.2	9	千葉市	26.9	8	神戸市	45.3
10	相模原市	46.7	10	仙台市	12.2	10	札幌市	61.0	10	熊本市	26.6	10	堺市	45.2
11	横浜市	46.4	10	北九州市	12.2	11	京都市	60.7	11	岡山市	26.4	11	さいたま市	45.1
11	大阪市	46.4	12	横浜市	12.0	12	広島市	60.6	12	相模原市	26.3	12	千葉市	45.0
13	名古屋市	46.1	13	千葉市	11.9	13	岡山市	60.4	13	広島市	25.8	12	横浜市	45.0
13	熊本市	46.1	13	神戸市	11.9	14	熊本市	59.7	14	大阪市	25.5	12	広島市	45.0
15	岡山市	46.0	15	新潟市	11.8	15	神戸市	58.8	15	名古屋市	25.4	15	名古屋市	44.9
16	広島市	45.9	16	相模原市	11.7	16	浜松市	58.7	16	横浜市	25.0	16	相模原市	44.8
17	仙台市	45.4	17	静岡市	11.4	17	堺市	58.5	17	仙台市	24.3	17	大阪市	44.5
18	さいたま市	45.1	18	札幌市	11.1	18	新潟市	58.3	18	さいたま市	23.6	18	仙台市	44.3
19	福岡市	43.9	19	京都市	11.0	19	静岡市	57.9	19	福岡市	22.1	20	福岡市	43.7
20	川崎市	43.7	19	大阪市	11.0	20	北九州市	56.0	20	川崎市	20.2	21	川崎市	43.2
2020年国勢調査		2020年国勢調査		2020年国勢調査		2020年国勢調査		2020年国勢調査		2020年国勢調査		2017年就業構造基本調査		

出典：川崎市 2023統計情報 第5号 「令和3年版 大都市データランキング カワサキをカイセキ！」から引用して静岡市加工

1 現実を直視

⑥ 直近の人口動態(静岡市と浜松市の比較)

(静岡県が2023年12月20日に公表したデータ)

【2022.10.1~2023.9.30の間の人口動態】

静岡市	出生	3,837人	死亡	9,512人	自然増減	▲5,675人
	転入	26,257人	転出等	26,654人	社会増減	▲397人
				合計		▲6,072人

(参考)3,837人×100年=38.4万人

浜松市	出生	4,821人	死亡	9,692人	自然増減	▲4,871人
	転入	37,471人	転出等	36,393人	社会増減	+1,078人
				合計		▲3,793人

2 アリーナ

① 静岡市のアリーナ整備の検討経緯

東静岡でのアリーナ検討

- 1991年 ・東静岡に多目的アリーナを計画
- 2002年 ・東静岡への新庁舎建設を計画（⇒平成16年に凍結）
- 2014年 ・草薙体育館の東静岡への移転誘致の要望
（商工会議所・自治会連合会・体育協会 ⇒ 市・県）
・東静岡への多目的アリーナ建設を要望（市 ⇒ 県）

駿府町でのアリーナ検討

- 2016~2018年 ・市民文化会館の再整備に合わせ、アリーナとの複合化を検討
⇒駿府町では実現困難 ⇒別の場所でのアリーナ実現を検討

東静岡でのアリーナ検討

- 2019年～ ・アリーナの予定地を、複数の候補地を比較して検討
⇒東静岡を有力な候補地とし、引き続き調査・検討
- 2022年 2月 ・東静岡をアリーナ候補地として選定
- 2023年 3月 ・「静岡市アリーナ誘致方針」を策定
- 2024年 4月 ・市長交代で事業を再検証

2 アリーナ ② 多目的アリーナ(スポーツ・コンサート等が開催可能・5,000席以上)の整備状況 (2023.12現在)

- 稼働中の多目的アリーナ(平成30年以前に完成)・・・約30カ所
- 稼働中の多目的アリーナ(令和元年以降に完成)・・・5カ所
- 建設中の多目的アリーナ・・・6カ所
- 計画・構想段階の多目的アリーナ・・・約20カ所

(出典:愛知県ホームページ)



愛知国際アリーナ

(出典:太田市ホームページ)



オープンハウスアリーナ太田



フラット八戸



有明アリーナ



SAGAアリーナ

HAPPINESS ARENA

LaLa arena TOKYO-BAY

トヨタアリーナ東京

横浜BUNTAI

(仮)静岡市アリーナ

あなぶきアリーナ香川



(出典:香川県ホームページ)

沖縄アリーナ



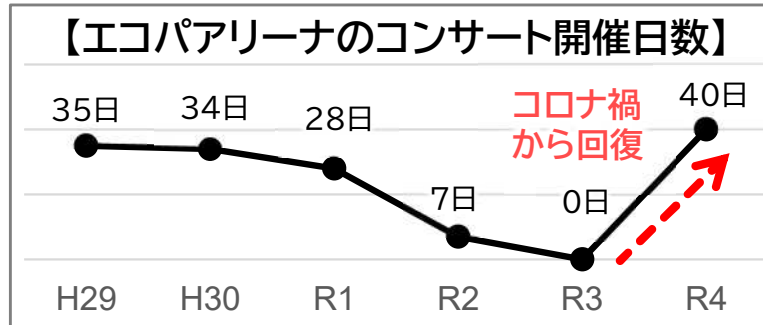
(出典:沖縄市ホームページ)

2 アリーナ

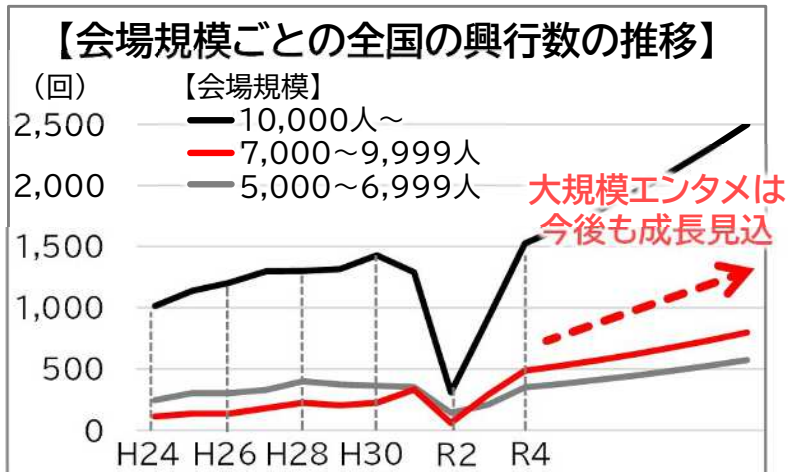
③ アリーナの需要と静岡市

1. アリーナの需要や動向

◆ エンターテインメントの需要

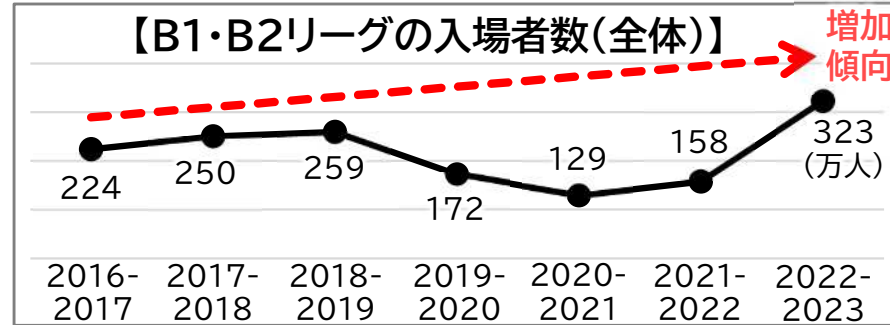


出典:エコパスタジアム公式サイト
「エコパアリーナの歩み」を基に静岡市作成



※出典:ぴあ総研「ライブエンタテインメント白書」、公表情報等を基にEY作成・静岡市加工

◆ プロスポーツの需要 (例:バスケットボール)



出典: Bリーグ公表資料を基に静岡市作成



沖縄アリーナ(出典:沖縄市HP)



SAGAアリーナ

・現行リーグ(Bリーグ)⇒令和8年に「新Bリーグ」創設

【新Bリーグ「Bプレミア」参入の条件】

・ホームアリーナ:5000席以上・VIPルームあり...等

全国で新たな多目的アリーナ整備を計画

2. 静岡市が持つ可能性

- ・地の利 (東京・横浜・名古屋に近く、優れた交通環境(新幹線・高速道路))
- ・全国から人が集まる(大道芸・ホビーショー・TGC)

【アリーナがもたらす効果】

- ・非日常のワクワク・ドキドキを市内で体感
- ・多彩なエンタメを市民生活に提供

3. アリーナを実現する意義

【今までの静岡市】...危機的状況

- ・人口減少、急速な少子高齢化(政令市最低レベル)
- ・若者に魅力的なまちづくり、文化づくりの施策が不十分
- ・若者がどんどん流出し、他都市から取り残されている

【これからの静岡市】...こどもや若者が、「未来は明るい」と夢を抱き、希望が持てるまち

- ・静岡市民...ずっと住みたいまち
- ・市外・県外の方...住んでみたい、魅力溢れるまち

2 アリーナ

④ アリーナの経済波及効果・所得誘発額

(想定) 静岡市内に立地

【アリーナの施設規模】

・施設規模 (収容人数) : 8,000席 (最大収容 10,000人)

・延床面積 : 25,000㎡

(1) 経済波及効果

	① 総支出額	② 直接効果	③ 一次波及効果	④ 二次波及効果	③+④ 経済波及効果	経済波及効果 (30年合計)
建設段階 (1~3年目)	266億円	252億円	307億円	51.0億円	358億円	-
運営段階 (4~33年目)	137億円/年	116億円/年	143億円/年	19.4億円/年	163億円/年	4,890億円

(2) 所得誘発額

	経済波及効果	雇用誘発数	市民税誘発額	所得誘発額	所得誘発額 (30年合計)
建設段階 (1~3年目)	358億円	2,133人	4.1億円	116億円	116億円
運営段階 (4~33年目)	163億円/年	1,540人/年	1.7億円/年	44.1億円/年	1,323億円
					合計1,439億円

※今後、想定される利用日数の精査により変わる可能性あり

2 アリーナ

④ アリーナの経済波及効果・所得誘発額

(参考：根拠データ) 経済波及効果

■ アリーナ建設に伴う経済波及効果（1～3年目の合計）

(単位：百万円、倍、人)

	対象産業	総支出額	直接効果 (A)	経済波及効果 (生産誘発額)		誘発効果			付加価値 誘発額	雇用 誘発数 (人)	市民税 誘発額	所得 誘発額 (百万円)	1人あたりの 所得誘発額 (円)	
				(B)	1次	2次	(B/A)	1次						2次
公共工事額 建設投資額	建設	24,815	24,815	35,294	30,253	5,041	1.42	1.22	0.20	18,054	2,094	402	11,465	32,070
設備投資額	生産用機械	1,800	380	515	451	64	1.36	1.19	0.17	273	39	5	147	410
	合計	26,615	25,195	35,810	30,704	5,105	1.42	1.22	0.20	18,327	2,133	407	11,611	32,480

■ アリーナ運営および来場者の消費に伴う経済波及効果／年

(単位：百万円、倍、人)

	総支出額	直接効果 (A)	経済波及効果 (生産誘発額)		誘発効果			付加価値 誘発額	雇用 誘発数 (人)	市民税 誘発額	所得 誘発額 (百万円)	1人あたりの 所得誘発額 (円)		
			(B)	1次	2次	(B/A)	1次						2次	
主催者運営支出	475	475	663	569	94	1.40	1.20	0.20	414	79	8	214	598	
来場者消費支出	13,269	11,118	15,601	13,756	1,845	1.40	1.24	0.17	8,686	1,461	158	4,196	11,738	
- Bリーグ	2,044	1,674	2,360	2,078	281	1.41	1.24	0.17	1,320	205	24	640	1,791	
- その他スポーツ興行	426	349	492	433	59	1.41	1.24	0.17	275	43	5	133	373	
- コンサート等	10,757	9,062	12,702	11,203	1,499	1.40	1.24	0.17	7,064	1,209	128	3,410	9,538	
- その他	42	33	47	42	6	1.41	1.24	0.17	26	4	0	13	36	
	合計	13,744	11,593	16,264	14,325	1,939	1.40	1.24	0.17	9,099	1,540	166	4,410	12,336

※平成27年静岡市産業連関表をもとに試算

(1) JR東静岡駅側



(2) 国道1号側



※国土交通省ホームページ (<https://plateauview.milt.go.jp/>)を加工して作成

※現時点で想定する一案のイメージであり、配置は今後事業者等との協議により決定する。

3 東静岡のまちづくり ① 20年～30年後の東静岡の将来像

地域の皆様と共有し、共に進めるまちづくり ～新たな文化力の拠点づくり～

ポイント

アリーナの存在



必要な 取組み

まちの新たな価値づくり

<ハード>

- JR東静岡駅南口の新県立中央図書館の整備
- JR東静岡駅北口のアリーナの整備

<ソフト>

- 既存のグランシップを含めた各ハード施設の連携と施設を活用した「人が集まる仕組みづくり」

新たな交通体系



必要な 取組み

誰もが移動しやすいまち・・・AI・自動運転の進化による新たな交通システム

- JR東静岡駅～静鉄長沼駅間の連絡動線強化(歩行者と車の動線分離:ペDESTリアンデッキ整備)
- 新たなスモールモビリティの導入
- 自動運転のもと、広範囲からのライドシェア、デマンド型モビリティ(AIオンデマンド)の活用

土地の有効活用



必要な 取組み

未来のために土地を有効活用

- 東静岡駅の南北の公共用地
- 都市計画に定める地域地区(用途地域や高度地区)の見直しによる新たな土地利用
→国道1号沿線、池田街道沿線など東静岡地区の周辺に分布する工業系用途地域の見直し
(商業系用途地域への変更)

医療・福祉や教育機関の連携

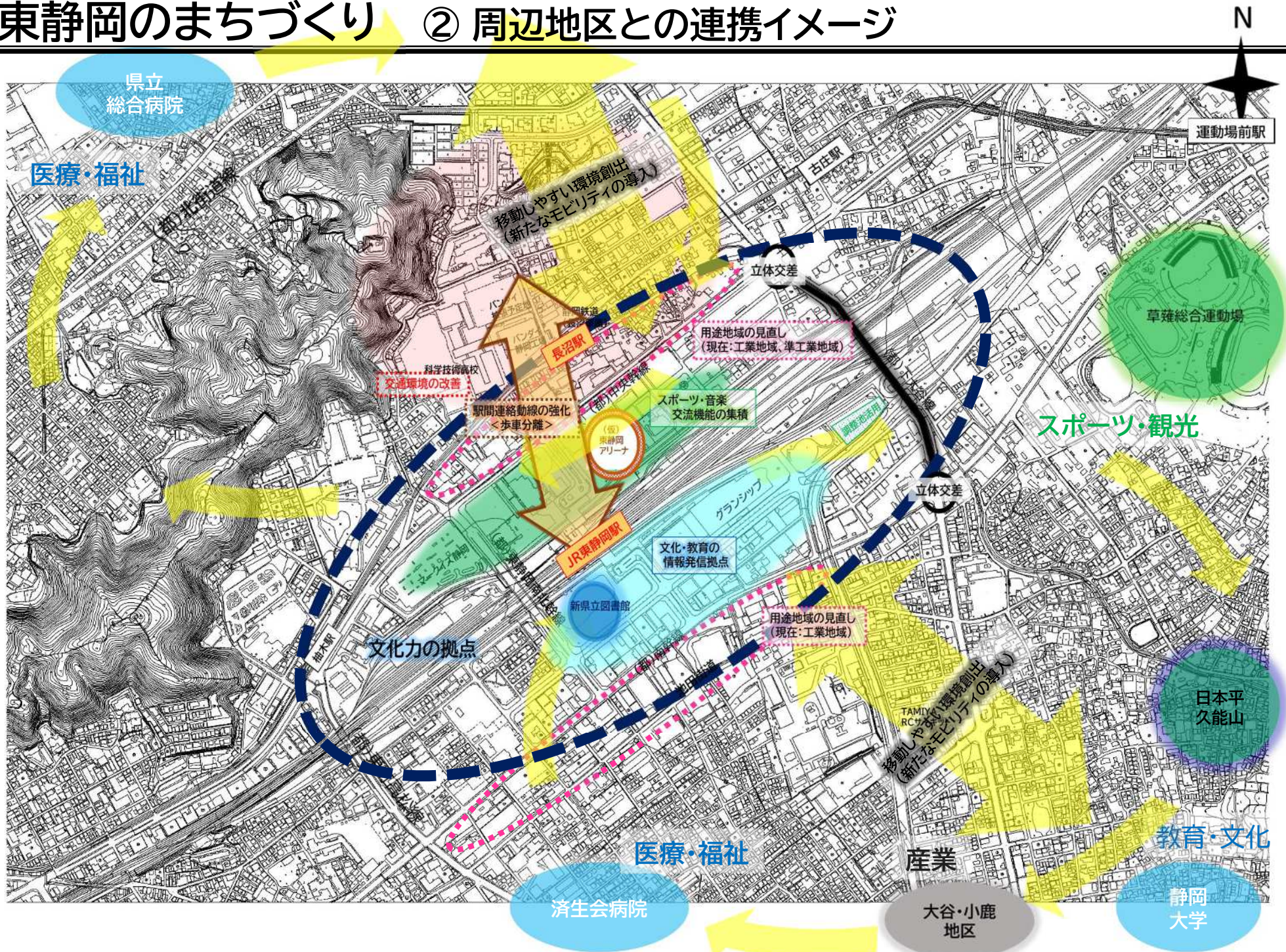


必要な 取組み

安心・安全で住みやすい環境づくり・若者が集まるまちづくり

- 新たな交通体系を活用した医療・福祉や教育機関等の連携
→済生会病院、県立総合病院、地域医療機関、福祉施設等と地域の連携
静岡大学をはじめ各教育・研究機関の連携

3 東静岡のまちづくり ② 周辺地区との連携イメージ



3 東静岡のまちづくり

③ JR東静岡駅周辺まちづくり

